

峰のひかり

発行人
社会福祉法人 七峰会
理事長 奥田 稔

〒036-8356
青森県弘前市大字下白銀町 21-8
電話 (0172)33-8861
FAX (0172)33-8862



認知症デイサービスセンター じょい……活動風景

「おばあちゃんは認知症です。でもおばあちゃんが笑ったら、お母さんも笑った。」女優の樹木希林さんが、認知症を演じている印象的なコマリシヤルがあります。高齢化の進む日本では、85歳以上の4人に1人が認知症だといわれています。認知症の症状が進むと、家族による介護が必要になります。「認知症は病気です。」頭ではわかっていても、イライラしてくることもあるでしょう。

一つ、事例を紹介します。脳卒中後遺症で車椅子生活のAさん。息子さん夫婦と同居し、主な介護者はお嫁さん。日常生活のほとんどに介護を要するが「嫁の介護が当前」という息子さんとご親戚、加えてAさんは口が達者。ある時、Aさんは、いわゆる「あたり返し」を発症しました。もう長くはないと誰もが覚悟をしましたが、奇跡的に復活。しかし、認知症発症。ひどい物忘れ、記憶の欠落が生じました。ケアマネージャーの私は、施設入居をすすめました。しかし、息子さんやご親戚が望まず、デイサービスと短

認知症とご家族

特別養護老人ホーム サンアップルグループ

期入所のサービスを組むしかなかったのです。介護サービスは、Aさんのためのサービスでしたが、お嫁さんの心と体のバランスをとるサービスでもありました。デイサービスや短期入所では、声掛け（会話による刺激）を強化し、能面様表情は、少しずつ以前のきりりとした表情に変わっていききました。一方でお嫁さんについては、心の重荷を口から吐き出すよう、聞くための訪問をしました。数ヶ月後、Aさんは亡くなりました。

「認知症のお義母さんの介護は、正直、楽ではなかったです。ただ、この数ヶ月、私は心穏やかにお義母さんに接することが出来ました。認知症となつてからは、夫もお義姉さんも、もちろん私のことも覚えていないのだけど、私をお母さんと呼び、介護は私でなければ不機嫌になりました。今では、お義母さんが認知症になった意味が何かあったのかと不思議な気持ちがあります。夫からは、お前が一番頑張つたと言われ、私は救われました。」

認知症状やご家族の受け止め方で様々な介護の方法や人間模様があると思います。キレイごとでは済まない場合もあります。でも、福祉サービスを上手に利用し、前を向いた生活を目指すことは出来ます。私達、サンアップルグループは、認知症の方もご家族も支えていきたいと思えます。

拓心館グループ

お母さん、ありがとう

5月13日は、母の日でした。児童
 デイサービス『はあと』では、お母
 さんに「いつもありがとう」や「大
 好き！」の気持ちを伝える為に、お
 子さん達がお母さんにプレゼントを
 作りました。

プレゼントは、
 アクセサリーやコ
 ースター、キーホ
 ルダーや手作りク
 レープなど、一人
 ひとりが得意な力
 を存分に発揮し
 て、楽しみながら
 お母さんへプレゼ
 ントを作ることが
 できました。

出来上がったものは、どれもこれ
 も個性的で、その子らしさに溢れた
 ものばかりでした。はさみを使うこ
 とが上手なお子さんは、折り紙を細
 く切って台紙に貼り、カラフルなコ
 ースターを作りました。手先が器用
 でビーズ通しが好きなお子さんは、
 沢山あるビーズの中から好きな色を
 選び、とてもゴージャスなネックレス
 を作りました。お母さんの好きな



色を意識し、上品で清楚な雰囲気
 プレゼントを完成させたお子さん
 もいます。

一人ひとりのプレゼントにはお母
 さんへの愛情がたっぷり込められて
 いて、それぞれが世界に一つだけの
 素敵なプレゼントになりました。

後日、あるお母さんから、「気持
 ちのこもったプレゼントがとても嬉
 しくて感激しました」というお話を

伺いました。お子さん達の思いが
 お母さんにしっかりと伝わったこと
 を感じ、私達も幸せな気持ちをし
 だきました。これからも、一人ひと
 りの思いを大切にしたい支援がで
 きよう、努めていきたいと思いま

手作り作品展開催

障害者支援施設 拓心館グループ

拓光園には、現在椎茸班、石鹸



班、軽作業班、歩行班の4つの作業
 班があり、日々生産活動を行って
 います。

そして、その取り組みや成果を地
 域の皆さんにも知ってもらおうと、
 毎年弘前市文化センターで「手作り
 作品展」を開催しています。

今年も利用者の皆さんが一生懸命
 作成した手芸作品、陶芸作品、干し
 椎茸、リサイクル石鹸など毎年好評
 を博している品々を展示販売しま
 す。

当日は、利用者も数名搬入から搬
 出まで職員と一緒に携わります。そ
 の中で、自分達が作成した品物を目
 の前で買っていただいたり、時折心
 温まる言葉を掛けていただくなどし
 て、利用者共々新たな作業意欲の向
 上に繋がっています。

さて、今年も弘前市文化センター

で6月28日から同展を開催すること
 となりました。どうぞ皆様お誘い合
 せの上、多数ご来場くださいますよ
 う心よりお待ちしております。

○第31回拓光園手作り作品展

【日時】

6月28日（12時～16時）

6月29日（9時30分～16時）

6月30日（9時30分～12時）

【場所】

弘前市文化センター一階美術展示室

暮らしを考える

障害者支援施設 山郷館ぐるいし

障害者のグループホーム・ケアホ
 ーム「山郷館ライフ」のこれまでの
 3件の住宅は二階建て一戸住宅で、
 車いすの方が生活できるように一部
 改修をしているものの、限られた環
 境の中では十分な広さの廊下が確保
 できない、二階部分は利用できない
 など必要とされる質と量が十分でな
 い点が課題となっていました。

新しく加わった4件目の住宅「山
 郷館柵ノ木住宅」はエレベーターを
 完備し、車いすの方々が生活しやす
 い広さと設備を備えた住宅となつて
 います。

山郷館柵ノ木住宅には、すでに4

名の方々が入居していますが、コンビニエンスストアと公園がすぐ隣にある恵まれた環境にあるため自由に買い物に出かけたり、散歩をしたりと思いいの生活を楽しんでるようです。

黒石市内には、「グループホーム・ケアホーム」、より自立した生活を目指している方々には「福祉ホーム」、医療的な管理や常時の介護や見守りが必要な方に必要な「生活施設」が整いました。

様々な状況下で選択して、いける住まいの場を提案することで、今の生活から一歩踏み出すことを応援していききたいと考えています。



陶芸教室へ 参加しています

平川市社会福祉協議会で行われている陶芸教室へ、毎月第2、第4土曜日に『旭光園』から現在4名の利用者さんが参加しています。陶芸教室では、尾上地区の方々と一緒に、茶碗や花瓶、湯飲みなどを陶芸教室の先生に教えて貰い、楽し



く制作しています。作品によっては長期制作となる物もあります。作品を作る事も楽しみですが、お茶やお菓子を食べながら話しを聞いたり、自分の悩み事を話したり、ストレス解消になっていると話しています。

2年前に尾上地区で展示会があり、作品をお披露目する機会があったので、次の展示会へ向けて良い作品を作っていきたいと意欲を燃やしています。

また、年一回陶芸教室ではバス旅行も開催されており、今年には五所川原にある「金山焼き」を見学に行く予定で、プロの方の焼き物を見られると今から楽しみの様です。

男の節句の兜や、その年の干支の焼き物を先生から貰い、参加者は宝物であると喜んでいきます。これからも楽しみながら製品作りに頑張りたいと話してくれました。

「元気です！」 児童デイサービスセンター「どれ・み」

「ただいま〜」「お帰りなさい」

放課後、学校から事業所に到着した児童の元気いっばいの声と笑顔、そして迎えたスタッフの明るい声で「どれ・み」の時間が始まります。

「山郷館児童デイサービスセンター「どれ・み」は、開設から一年が経ちました。今年度から制度が改正され、児童福祉法による『通所支援』の『放課後等デイサービス事業』へ移行しました。学校通学中の心身に障がいのある児童に対し、トイレットレーニングなど普段の生活に必要な動作が身につくよう支援し、また、集団生活を通じ、一人ひとり



の成長に合わせた支援をすることを目的としています。 「どれ・み」では現在、弘前市、黒石市、平川市、鶴田町から1日平均8名くらいの利用があります。ほとんどの児童がセンターに近い県立養護学校に通っており、隣接のさわらび医療療育センターとも連携が図られている等、デイサービスを利用しやすい環境にあります。

今後の目標は特に、利用児童の一人ひとりが、希望に満ちた未来へ繋がるよう、将来像を意識した支援を心掛けていくことです。利用児童・そして保護者の方と共に、楽しさや喜びを、笑顔で共有できるように、スタッフ一同、努めていきます。詳しい内容のお問い合わせは左記にお願いいたします。

『山郷館児童デイサービスセンター「どれ・み」』
〒036-11343
弘前市大字百沢字東岩木山2628
(障害者支援施設 山郷館敷地内)
電話 0172-9610253

社会福祉法人 七峰会 平成23年度 決算報告書

これは、平成24年5月9日～18日に法人監査を行い、平成24年5月28日に評議会の同意を得て、同日理事会において承認されたものです。尚、閲覧は法人本部事務所にて可能です。

貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	1,913,833	流動資産	317,758
固定資産	4,243,298	固定資産	18,000
基本財産	2,103,105	負債の部合計	335,758
その他の固定資産	2,140,193	純資産の部	
		基本金	564,540
		国庫補助金等特別積立金	556,217
		その他の積立金	1,352,154
		次期繰越活動収支差額	3,348,462
		(うち当期活動収支差額)	380,008
		純資産の部合計	5,821,373
資産の部合計	6,157,131	負債の部及び純資産の部合計	6,157,131

脚注 1. 減価償却費の累計額 2,479,762千円
 2. 徴収不能引当金の額 0千円

事業活動収支計算書

(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位：千円)

勘定科目	金額
事業活動収入	2,576,910
事業活動支出	2,190,171
事業活動収支差額	386,739
就労支援事業収入	85,577
就労支援事業支出	82,720
就労支援事業収支差額	2,857
事業活動外収入	149,327
事業活動外支出	149,002
事業活動外収支差額	325
経常収支差額	389,921
特別収入	121,735
特別支出	131,648
特別収支差額	△9,913
当期活動収支差額	380,008
前期繰越活動収支差額	3,100,905
当期末繰越活動収支差額	3,480,913
基本金取崩額	8,465
その他の積立金取崩額	155,000
その他の積立金積立額	295,916
次期繰越活動収支差額	3,348,462

資金収支計算書

(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位：千円)

勘定科目	金額
経常活動収入	2,679,459
経常活動支出	2,156,257
経常活動資金収支差額	523,202
就労支援事業収入	85,577
就労支援事業支出	78,342
就労支援事業収支差額	7,235
施設設備等収入	41,950
施設設備等支出	321,934
施設設備等資金収支差額	△279,984
財務活動収入	155,056
財務活動支出	321,452
財務活動資金収支差額	△166,396
当期資金収支差額合計	84,057
前期末支払資金残高	1,505,551
当期末支払資金残高	1,589,608

注記

1. 棚卸資産については、資金収支計算より除く。
6,467千円

総合支援事業	障害者支援事業	高齢者介護事業	居宅介護支援事業
<p>青森県指定 津軽障害者就業 生活支援センター ☎4524</p> <p>弘前市委託事業 弘前市障害者生活支援センター ☎2400</p> <p>弘前市委託事業 弘前市北郷地域包括支援センター ☎2100</p> <p>黒石市委託事業 山形県総合支援センター黒石 ☎5018</p>	<p>主に知的</p> <p>拓心館グループ ☎4520</p> <p>自立訓練事業(宿泊型)自立訓練(生活訓練) 津軽生活支援センター(共同生活介護援助) はまぐり(障害者就業支援事業)放課後デイサービス あまぎ(障害者就業支援事業)放課後デイサービス 工イブル(個別訓練施設) 指定相談支援事業所ヒリーフ</p> <p>主に身体</p> <p>障害者支援施設 拓 光 園 ☎2331</p> <p>施設入所支援 生活介護事業 拓光園短期入所支援事業所(給付型) 拓光園障害児デイサービスセンター 拓光園日中一時支援事業所 拓光園共同生活介護事業所(2ヶ所)</p> <p>障害者支援施設 旭 光 園 ☎5155</p> <p>施設入所支援 生活介護 就労継続支援B型 旭光園身体障害者短期入所事業所 福祉ホームさわら</p>	<p>住宅型有料老人ホーム「わかば」 ☎1888</p> <p>サンアップル在宅介護支援センター ☎2131</p> <p>サポートセンターわかば ☎1165 認知症グループホームわかば デイサービスセンターわかば</p> <p>認知症デイサービスセンターじょい ☎2013 ☎2778</p> <p>認知症グループホームアップル ☎3758</p>	<p>特別養護老人ホーム サンアップルホーム ☎2111</p> <p>サンアップル短期入所生活介護センター サンアップルホームデイサービスセンター サンアップルヘルパーセンター ☎3758</p> <p>認知症グループホームアップル ☎2778 ☎2013</p> <p>山郷館居宅介護支援センター ☎2941</p> <p>サンアップル居宅介護支援センター ☎2131</p>